

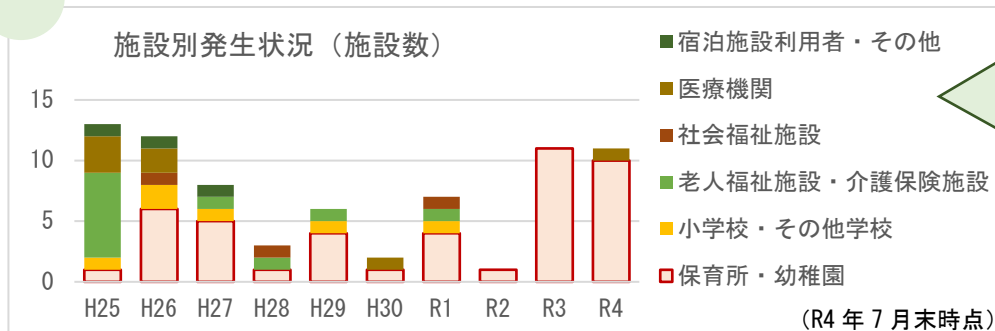


感染性胃腸炎の対策を再確認しましょう

※ 保育所・幼稚園における集団感染事例が続いています！

R4. 7 北見保健所作成

1 北見保健所管内における感染性胃腸炎集団感染事例の発生状況



例年、保育所幼稚園における感染性胃腸炎の集団感染が発生しており、令和4年度は10件、保育所・幼稚園で発生しています。季節に関わらず、**年間を通じ対策が必要**になっています。

2 北見保健所の調査から見えていること

【早期に収束した園で実践していたこと】

★職員間の連携

・園の感染症対策マニュアルを作成し、職員全体に研修を実施。
新入が処理を行う時は、先輩と一緒にフォロー

★保護者への協力依頼

・胃腸炎症状が数人出ている時点で、体調が悪い子のお休み、
症状がない兄弟も一緒にの休みをお願い
・症状軽快後も、便が正常に、ごはんがきちんと食べられること
を確認してから登園してもらうようお願い

【感染拡大の背景となり得たこと】

○感染症を疑った対応の遅れ

・体調不良で休んでいる子が数名いたが、症状や受診状況等
が把握されていず。「感染が広がっている」と認識できず

○清潔保持、清潔不潔区域の区別が不十分

・素足でトイレと教室を行き来
・蓋が開いたゴミ箱に使用済みオムツを保管

○消毒方法に関する知識・物品管理

・オムツ交換時にエプロン着用なし
・濃度が適切ではない可能性がある消毒液
(消毒液の作り置き) を使用
・消毒セットをすぐに取り出せるようにしていない
・飛散や持ち運びを考慮した広範囲の消毒ができていない



新型コロナではアルコール消毒が中心となっていますが

感染性胃腸炎は**次亜塩素酸ナトリウム**による消毒が必要です。

3 感染拡大を防ぐ対策のポイント

集団生活の中で、感染のリスクを無くすことは難しいため、感染を少しでも拡大させないための「**心構えと準備**」を「**職員全員で**」理解することが必要です。

Point1 正しい知識に基づく適切な消毒を行いましょう

適切な消毒を行うためには、消毒の「タイミング」、「準備」、「方法」が重要です。
嘔吐下痢時の対応手順や物品の管理について、別添のリーフレットを参照し、再確認をお願いします。



Point2 有症者を複数確認した時は特に**感染の広がり**を疑いましょう

日頃から、発熱やおなかの症状で園児等が何人休んでいるかがわかるようにする等早期に感染の広がりに気づくことができる体制作り、また職員が感染を広げないための環境作りも大切です。

Point3 情報共有を積極的に行いましょう

- ①職員間の連携や連絡＝事態を早期に認知できること
- ②保護者等への速やかな感染状況の情報提供＝感染対策への協力が得られること
- ③市町所管課等や保健所への報告＝状況を整理して一緒に対策を検討すること



につながります。

連絡先 北海道オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室（北海道北見保健所）
健康推進課健康支援係 (TEL) 0157-24-4171 (FAX) 0157-24-4199

※ 対策の強化と同時に、速やかな保健所への報告をお願いします。